



はじめに



(注) このマニュアルに記載された内容は、利用可能な最新のシスコ製品に関する情報とは異なる場合があります。最新のマニュアルは、次の URL にあるシスコ製品のマニュアル ページで入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

- [このマニュアルについて \(i ページ\)](#)
- [対象読者 \(ii ページ\)](#)
- [関連資料 \(ii ページ\)](#)
- [表記法 \(ii ページ\)](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報 \(iv ページ\)](#)
- [マニュアルの構成 \(v ページ\)](#)

このマニュアルについて

『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド』では、Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool に関する情報を提供します。

設定に次のドキュメントにこのガイドを使用します。

Cisco Unified Communications Manager	『Cisco Unified Communications Manager System Guide』、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』、『CDR Analysis and Reporting Administration Guide』、および『Cisco Unified Communications Manager Call Detail Records Administration Guide』
Cisco Unified Communications Manager IM およびプレゼンスサービス	『Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager』 および 『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』

Cisco Business Edition 5000	『Cisco Unified Communications Manager System Guide』、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』、『CDR Analysis and Reporting Administration Guide』、『Cisco Unified Communications Manager Call Detail Records Administration Guide』、『Cisco Unity Connection System Administration Guide』、および『Cisco Unity Connection Serviceability Administration Guide』
Cisco Unity Connection	『Cisco Unity Connection System Administration Guide』 および『Cisco Unity Connection Serviceability Administration Guide』

これらのマニュアルは、次の情報が含まれます。

- Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service、Cisco Business Edition 5000、および Cisco Unity Connection の管理に関する説明。
- 管理インターフェイスを使用して実行できる手順のタスクの説明。

対象読者

『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド』は、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Business Edition 5000、および Cisco Unity Connection の管理とサポートを担当するネットワーク管理者に対して情報を提供します。ネットワーク エンジニア、システム管理者、または電気通信技術者を対象として学習し管理するためにリモート保守機能このマニュアルを使用できます。このマニュアルを使用するには、テレフォニーおよびIP ネットワーキング テクノロジーに関する知識が必要です。

関連資料

Cisco Unified Communications Manager に関する追加ドキュメントについては、『Cisco Unified Communications Manager Documentation Guide』を参照してください。

Cisco Business Edition 5000 に関する追加ドキュメントについては、『Cisco Business Edition 5000 Documentation Guide』を参照してください。

Cisco Unity Connection に関する追加ドキュメントについては、『Cisco Unity Connection Documentation Guide』を参照してください。

表記法

このマニュアルでは、以下の表記法を使用しています。

表記法	説明
▽太字△	コマンドおよびキーワードは 太字 で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で表記されています。
[]	角かっこの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、 screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の <i>screen</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の <i>screen</i> フォントで示しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ワンポイントアドバイスは、次のように表しています。



ワンポイント
アドバイス

「時間の節約に役立つ操作」です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

ヒントは、次のように表しています。



ヒント 役立つ「ヒント」の意味です。

注意は、次のように表しています。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#) にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探するには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco バグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアの問題に関する詳細な情報を提供します。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものとみなされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、
http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html [英語] で参照できます。

マニュアルの構成

管理の概要

ブラウザのサポートを含む Unified RTMT の概要です。

スタートガイド

Unified RTMT クライアントのインストール、アクセスおよび使用方法について説明します。

システム パフォーマンスのモニタリング

RTMT でのシステム パフォーマンス モニタリングの概要です。Cisco Unified Communications Manager、Cisco Intercompany Media Engine、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service、および Cisco Unity Connection システムで事前定義されたオブジェクトを管理する方法を含みます。

Cisco Unified Analysis Manager

Unified Analysis Manager をインストールおよび設定する手順、Unified Analysis Manager で診断可能なノードを追加する手順、デバイスの管理手順、およびトラブルシューティングに関する情報を含む、Cisco Unified Analysis Manager に関する情報を提供します。

プロファイルとカテゴリ

プロファイルおよびカテゴリを管理する方法について説明します。

パフォーマンス カウンタ

パフォーマンス カウンタおよびカウンタの説明の表示、および perfmon ログなど、Performance Monitor の使用手順を示します。

アラート

アラートの使用手順を示します。

Trace and Log Central

オンデマンドのトレース収集とシステム サービスでのクラッシュ ダンプ ファイルの設定方法、および該当ビューアでのトレース ファイルの表示方法について説明します。

(付録) パフォーマンスカウンター 及びアラート

システムの各コンポーネントのパフォーマンス オブジェクトとその関連カウンタの全リストを示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。